指定管理者モニタリング結果報告書(令和6年度分)

・施設名 : 丸亀市土器コミュニティセンター

・施設所管部課:協働推進部地域づくり課

・指定管理者 : 住みたくなるまち土器

	区 分	内容
		定期モニタリング:上・下半期ごとに1回業務報告提出時
実施時期		1年間の事業報告書(令和7年3月31日)提出時
		随時モニタリング:施設訪問時実施(年 3~4 回)
		定期モニタリング:上・下半期ごとの報告書を10日までに受け取り、聞
		き取り調査を実施
実施方法		1年間の事業報告書提出時に聞き取り調査を実施
		随時モニタリング:施設訪問時、業務報告書を元に現地調査を実施し、
		管理状況を確認
	① 施設の状況	(施設築年数) 築 9 年
実施結果		(前年度と変わったところ)
		│⇒駐車場枠の増加 │ 〈◇徐・梅様符ん〉悪ない。これ
		(今後、修繕等が必要なところ) ⇒センター内駐車場の土台のひび割れ(軽度)
		プセンダー内駐車場のエロのひひ割れ(軽度) 【利用状況】
	② 施設の利用状況	令和5年度 令和6年度 対前年比(%)
		利用者数 21, 239 人 24, 676 人 116. 2 %
		利用料収入 884,000円 1,131,150円 128.0%
		(前年度と比較して利用者や収入が増加・減少した理由)
		⇒生涯学習センターの廃止に伴う生涯学習クラブの受入れのため
		(利用者の傾向・属性)
		⇒生涯学習クラブ、有料利用者ともに増加
		(利用者数増加のための取組)
		⇒小学生向けのイベントが増加したため、保護者の周知につながった。
	③ 施設利用者の意 向把握と対応	(利用者の意見や要望を把握するための方法、実施時期) → 4 = ブラクト・戦利用者の利用料のませいの時に関え取り
		⇒クラブ長会や一般利用者の利用料金支払いの時に聞き取り (市民サービス向上への取組)
		│ ⇒上記で聞き取った内容を精査し、改善点などを実施。
	④ 管理体制	職員2名(所長、事務員)、管理人1人(業務委託)で管理。
		業務担当は、所長(施設管理運営、各種団体との連絡調整、全般)
		事務員(施設の事務、庶務全般)
		管理人(施設内外の清掃、開錠、施錠、他)
	⑤ 管理経費	事業計画書の範囲内での経費管理をしている。利用者にも協力をお願い
		し、節電、節水、節ガス等に心掛けている。また、その他経費もコスト
		ダウンに努めている。 非営利事業所として税務署へ届け済み(実費弁償方式を採用)。
	⑥ 緊急時の対応について	非呂利事業所として祝物者へ届り済み(美質弁慎力式を採用)。 平素から危機管理意識を持ち、センター利用者にも参加協力を得ながら、
		一系がら危機自母急職を持ち、ピンダー利用自にも参加協力を持ながら、 災害を想定した避難訓練及び消火訓練を実施している。
		また、災害の恐れがある警報が発令された場合には、市と連絡体制を密
		にとるとともに、職員はコミュニティセンターで待機し、時間外等で自
		宅待機の場合はセンター玄関に職員の自宅電話等を記した貼り紙を掲示
		することで電話連絡が取れるようにしている。
	⑦その他	指定管理者本体の財務状況に大きな問題はなく、業務遂行能力について
	(指定管理者の業務 遂行能力等)	問題は見られない。
	松川677寸/	

⑧ 改善指示事項	引き続き利用者のニーズにあった運営を行い、利用促進を図っていただきたい。
実施結果に対する所管課の意見	施設の効率的な運用に努めており、利用者の利便性や経費削減にも配慮 しながら概ね良好に管理されている。
今後の施設管理に反映(改善)す	常日頃から目配りし、修繕箇所・問題点を把握し対処していく。
る事項	